

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 18 日 作成

総合計画体系	事務事業名	社会教育指導員配置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	田中政吉
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発			所属班	生涯学習班	(内線)	1504
					法令根拠	合志市社会教育指導員設置規則			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	10	5	1	10767			コスト削減優先度評価結果	6*12

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 昭和48 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
社会教育を推進するため、社会教育指導員2名を配置する。

【業務の流れ】
社会教育の推進を図るため、各コミュニティ及び中央公民館への指導及び助言を行う。また、成人教育、青少年教育、家庭教育に関して指導を行う。

【主な予算費目】
報酬

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
①本市生涯学習の拠点2施設(ヴィーブル・御代志市民センター)に各1名配置。	②各指導員は、各コミュニティ、中央公民館への指導及び助言を行う。また成人教育、青少年教育、家庭教育に関して指導を行った。	コミュニティ活動を旧合志地域に広げていくため、指導員2名をヴィーブルに配置する予定。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民(生涯学習事業参加者)	ア 指導助言のための勤務日数 イ 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	よりよい生涯学習活動を市民が行えるようにする	ア よりよい活動が出来ようになった市民の数 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	生涯学習事業に参加する市民が増えていく	ア 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 イ スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計		千円	2,052	2,052	2,062	2,061	2,052	2,052	
	うち指定経費		千円							
	うち時間外、特殊勤務手当		千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10	
(B)人件費計		千円	40	40	40	40	40	40		
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,092	2,092	2,102	2,101	2,092	2,092		
活動指標	ア イ	日	360	360	360	360	360	360	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	ア イ	人	53,000	53,500	54,000	54,500	54,000	54,500		
成果指標	ア イ	人	未集計	未集計	5300.0%	5300.0%	5500.0%	5500.0%		
上位成果指標	ア イ	%	45.1	50.8	45.5	47.3	45.8	46		
			42.6	46.5	43.3	44.3	43.6	44		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

①旧合志町に昭和50年8月、旧西合志町は昭和48年7月に社会教育の指導、相談を受け持つため、各町に1名配置された。

②平成18年2月に両町合併後、旧町で推進方法の異なる生涯学習の指導、相談のため2名配置となった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

合併前、旧両町とも急激に人口が増加し、生涯学習の充実を求める住民ニーズは増大していった。このため各町とも拠点となる施設を整備し、活発に生涯学習活動が行われることになった。近年は次第に高齢化が進み、リタイア世代の生涯学習活動が活発になり、この世代のニーズを取り入れた内容を充実していく状況となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

住民からは、子どもへの伝承活動や家庭教育に関する活動を充実させるよう、意見が出ている。

事務事業名	社会教育指導員配置事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 社会教育指導員の指導により、よりよい生涯学習活動を市民が行えるため政策と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 社会教育指導員により、生涯学習活動のレベルアップが図られるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象・意図とも現状では適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 合併前、両町の生涯学習活動は、それぞれの歴史伝統があり、そのもとで行われてきた。合併後も、急激な同一化は困難と思われるが、次第に一本化に向かう過程で指導員の2名配置を見直すことが可能である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ①生涯学習の住民ニーズを捕らえることが難しくなる。 ②生涯学習活動の相談を受け、アドバイスすることが難しくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 旧両町の生涯学習推進の方策が一本化できれば、2人配置を見直すことが可能かと思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費は非常勤職員の人件費のみであるため、削減は困難である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 非常勤職員により事業を行っており、人件費も必要最小限であるため、削減は困難である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 社会教育指導員は市民全体の利益のため業務を行っており、公平公正を旨としている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、おおむね。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下			
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持																			
低下																				

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2)貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)